

日本産酒類のブランド戦略検討会の開催について

令和元年 9 月 9 日
令和 3 年 8 月 23 日改訂
国 税 庁

1 趣旨

日本産酒類の 2020 年の輸出金額は約 710 億円（対前年比 7.5%増）と 9 年連続で過去最高を記録しており、更なる輸出拡大のためには、一層の販路開拓支援やプロモーション等による認知度向上はもちろん、高付加価値化等による適正な価格設定とそのため
のブランド戦略が重要である。

また、国内においても、ブランド力の向上を目指した新商品開発等が活発化することを通じ、魅力のある多様な商品が市場に供給され、消費者の選択肢が広がるとともに、酒類業界全体の活性化が期待できる。

本検討会においては、日本産酒類の高付加価値化・ブランド化等を推進するための課題と対応方策を整理・検討し、その上で、政府がとるべき施策を提言する。

2 構成

- (1) 検討会の委員は、別紙のとおりとする。なお、委員の任期は 2 年とする。また、委員は再任されることができる。
- (2) 検討会には、座長及び座長代理を置く。
- (3) 検討会には、必要に応じて、委員以外の有識者の参加を求め、説明及び意見の聴取を行うことができる。

3 運営

- (1) 検討会は、国税庁長官が開催し、その庶務は国税庁酒税課において行う。
- (2) 検討会は非公開とする。ただし、検討会における配付資料及び議事要旨については、委員の了解を得た後、国税庁ホームページにより公表する。議事要旨については、発言者の氏名は公表しないものとする。

「日本産酒類のブランド戦略検討会」委員

氏名	現職
◎ こいずみ たけお 小泉 武夫	東京農業大学 名誉教授
○ かのう けんじ 嘉納 健二	白鶴酒造株式会社 代表取締役社長
デービッド・ アトキンソン	株式会社小西美術工藝社 代表取締役
いこま りゅうじ 生駒 龍史	株式会社 Clear 代表取締役 CEO
ささき たいち 佐々木 太一	サントリースピリッツ株式会社 ウイスキー事業部 課長
さとう じゅん 佐藤 淳	金沢学院大学 経済学部 教授
しもだ まさひこ 下田 雅彦	三和酒類株式会社 代表取締役社長
たさき しんや 田崎 真也	一般社団法人日本ソムリエ協会 会長
なかの ますみ 仲野 益美	出羽桜酒造株式会社 代表取締役社長
はせがわ いずみ 長谷川 泉	JFC ジャパン株式会社 常務執行役員 営業本部長
みずの なおと 水野 直人	黒龍酒造株式会社 代表取締役社長
むらた てつたろう 村田 哲太郎	株式会社 bacchus 代表取締役社長

※ ◎は座長、○は座長代理

【オブザーバー】

内閣府 知的財産戦略推進事務局
外務省
農林水産省 食料産業局
経済産業省 貿易経済協力局
文化庁 政策課
観光庁 観光資源課

独立行政法人 酒類総合研究所
独立行政法人 日本貿易振興機構
日本食品海外プロモーションセンター
独立行政法人 国際観光振興機構
株式会社 海外需要開拓支援機構
日本酒造組合中央会
日本洋酒酒造組合